//

「卒業式を終えて」（2015.3）　A さん（2011 年度アルザス研修に参加）

法政大学文学部哲学科を卒業しました！法政には高校からあわせて８年お世話になりました。1年休学してワーキングホリデーに行っていたのですが、まさか自分がそんな行動を起こすとは思ってもみませんでした。

きっかけは大学２年の終わりに参加したドイツ・フランスでの海外研修でした。それまでは「卒業さえできればいいや」とモラトリアムを謳歌していたのですが、ヨーロッパの学生たちが日本語を自在に操るのを見て「このまま卒業していいのか」と自問するようになりました。たった一週間ほどの経験なのに強く心に残り、またあの刺激を受けたい、行くしかないと考えるようになりました。ちょうど派遣留学の募集をやっていましたが新たに設けられた成績基準に満たなかったため断念。しかし、どうしても行きたかったのでワーキングホリデービザを使うことにしました。１年間準備をし、４年次を休学してフランスへ行きました。

はじめ５ヶ月はニースでホームステイをしながら語学学校に通いました。ストライキに巻き込まれる、鍵や携帯電話を失くす（スられる？）、ホストファミリーがおかしい、など少しトラブルもありましたが、おいしい経験でした。残りは原点ともいえるストラスブールで過ごしました。運良く仕事が見つかり、ベトナム料理屋で働くことができました。週７というブラックさでしたが楽しかったので、大変ではありませんでした。本当に親切にしてもらいました。

帰国前１ヶ月はたくさん飛行機に乗りました。ドゥブロヴニク、ウィーン、コペンハーゲン、ロンドン、パリ・・・どれも思い出深いです。ロンドンのナショナルギャラリーでは初めて絵の前で動けなくなりました。美術館ってよくわからなかったのですが、面白みを感じるようになりました。卒論にも繋がったので驚きです。ジョブズの演説みたい。

１年という短い間だけど、延長して良かったです。きっとこれからも一番よく思い出すでしょう。目覚めた１年だったなぁとしみじみします。あの経験を通して、考えが柔軟になった気がします。また、色んな人たちに感謝です。当たり前ですが自分以外は他人です。違う考えなどを聞くのはとても面白いですし、そうだから自分も自分であっていいんだなと思うことができます。

来週から就職ですが、また色々な刺激を受けられたら、と思っています。とりあえずは東京駅で働くので、近い人はよかったら会いましょう。読んでくれてありがとうございました！

//

「アルザス研修から帰って」（2015.2）B さん（2014 年度アルザス研修に参加）

2 月 3 日羽田空港～ドイツのフランクフルト空港へ♪♪2 月 9 日スイスのバーゼル空港～フランクフルト空港～2 月 10 日成田空港に帰国。法政哲学科学生 19 人+安孫子先生。

最初はハイデルベルグ大学で英語の presentation を行った！苦手な英語だったが挑戦して本当によかったと思う！何事も挑戦！！ハイデルベルグ城に登りドイツを見渡した。□

ドイツの次はフランスへ！アルザス地方の小さな町(村)々にいった(*^^*)。シュークルート、タルトフランベ、ワインと食べ物や飲み物はとても美味しかった。日本では食べたことのない味だったり、量が多かったり驚くことも多々あった、笑。

そして、アルザスの大都会、ストラスブールやコルマールにもいった！ストラスブール大聖堂はあの素晴らしい建築に人生で一番感動したかもしれない！！思わず感極まって泣きそうになった！また、コルマールは「ハウルの動く城」のモチーフとなった町もあってとても可愛かった。ドイツもフランスもともに建物がかわいくて。日本では決して見ることのできないものを沢山見ることができてとても刺激的だった！！

そして、現地ではフランス人の学生たちと仲良くなれてよかったと思う！フランスの学生たちはかなり日本語が上手で、彼らとはほとんど日本語で会話していた。そして、次に行くときまでには、今度は自分がフランス語を完璧に話したいと思った！！

時間をかけて努力をすることが語学には大切なことだとあらためて思った！この研修で積極的にフランス語を使おうと努力したら、自然と Merci beaucoup. Je vous en prie. C'est très beau. C’est très bien. Elle est belle など沢山使うことができるようになった！他にも得たことは沢山ある！

海外がだいすきになり、またおかねを貯めていつかヨーロッパに行きたいと思う！夢のような一週間でした(*´ω｀*)。